

Job

Chapter 7

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

יָמָיו : שְׂכִיר וְיָמִיו אֶרֶץ (עַל- |) לְאִנוּשׁ צָבָא הֲלֹא־ 1
その-日々のように 雇い人の そして-日々は 上で 地の 地の 人に 苦役が ではないか
H3117 H7916 H3117 H0776 H0582 H3808

地上の人には、激しい労務があるではないか。またその日は雇人の日のようではないか。

פְּעָלוֹ : יְקוּהַ וְכִשְׂכִיר צֶלַח יִשְׁאַף- כְּעֶבֶד 2
その-報酬を 待ち望む そして-雇い人の-ように 影を 慕い求める 奴隷の-ように
H6467 H7916 H6738 H5650

奴隷が夕暮を慕うように、雇人がその賃銀を望むように、

לִי : מְנוּחַ עֲמַל וְלַיְלֹת שׂוּא יִרְחִי- לִי הִנְתַּלְתִּי כֵן 3
私に 定められた 苦しみの そして-夜々が 空しい 月々を 私に 私は-受け継いだ そのように
H4487 H5999 H3915 H7723 H3391 H5157

わたしは、むなしい月を持たせられ、悩みの夜を与えられる。

עַרְבַּ וּמָוֶדֶד- אֶקוּם מָתַי וְאֶמְרֵתִי שְׁכַבְתִּי אִם- 4
夕べまで そして-長引く 起き上がるのかと いつ そして-言う 横たわるなら もし
H6153 H4059 H4970 H0559 H7901
וְשָׁפָה : עָרִי נְדָרִים וְשִׁבְעֵתִי 5
夜明けの まで 寝返りで そして-満ちている
H5399 H5704 H5076 H7646

わたしは寝るときに言う、『いつ起きるだろうか』と。しかし夜は長く、暁までこぼれまわる。

רָנַע עוֹרִי עֶפְרַח (וְנִישׁ) |וְנִישׁ| רָמָה בְּשָׂרִי לֶבֶשׁ 5
裂けて 私の-皮膚は 塵の そして-塊を そして-塊を 蛆を 私の-肉は まとっている
H5785 H6083 H1487 H1487 H7415 H1320 H3847
וַיִּמָּאֵס :
そして-ただれている

わたしの肉はうじと土くれとをまとい、わたしの皮は固まっては、またくずれる。

תִּקְוָה : בְּאֶפְסֹ וַיִּכְלוּ אֶרֶג מְנוּחַ קָלוֹ יָמִיו 6
ないままに 望みの そして-尽きる 機織りの-杼 よりも 速い 私の-日々は
H3615 H0708 H3117

わたしの日は機のみよりも速く、望みをもたずに消え去る。

לְרֵאוֹת עֵינַי תָּשׁוּב לֹא- תִּי זָכַר 7
見ることに 私の-目は 戻らない 再び 私の-命は 風である まことに 思い出してください
H7200 H7725 H3808 H7307 H2142

טוֹב :
良いものを

記憶せよ、わたしの命は息にすぎないことを。わたしの目は再び幸を見ることがない。

לָבָבְךָ:	אֵלָיו	תְּשִׁית	וְכִי־	תַגְדִּלְנוּ	כִּי	אָנוּשׁ	מָה־	17
あなたの-心を	彼に	向けるのか	そして-なぜ	大きくするの	なぜ	人間とは	何であろう	
	H0413	H7896		H1431		H0582	H4100	

人は何者なので、あなたはこれを大きなものとし、これにみ心をとめ、

תִּבְחַנְנוּ:	לְרַגְעִים	לְבַקְרִים	וּתְפַקְדְנוּ	18
試みるの	絶え間なく	毎朝	そして-訪れるの	
H0974	H7281	H1242		

朝ごとに、これを尋ね、絶え間なく、これを試みられるのか。

רָקִי:	בִּלְעֵי	עַד־	תִּרְפְּנִי	לֹא־	מִמֶּנִּי	תִּשְׁעָה	לֹא־	בְּמָה	19
私の-唾を	飲み込む	まで	くれないの	放して	私から	そらさないの	目を	いつまで	
H7536	H1104	H5704	H7503	H3808		H8159	H3808	H4100	

いつまで、あなたはわたしに目を離さず、つばをのむまも、わたしを捨てておられないのか。

שָׂמַתְנִי	לְמָה	הָאָדָם	נִצַּר	לְךָ	וְאִפְעַל	מָה	חָטְאתִי	20
置いたの	なぜ	人を	見張る-方よ	あなたに	なしえようか	何を	たとえ-罪を-犯したとして	
	H4100	H0120	H5341		H6466	H4100	H2398	

לְמִשָּׂא:	עָלַי	וְאֵהִיָּה	לְךָ	לְמַפְנֵעַ
重荷と	私自身に	そして-なったの	あなたの	的として
		H1961		H4645

人を監視される者よ、わたしが罪を犯したとて、あなたに何をなしえようか。なにゆえ、わたしをあなたの的とし、わたしをあなたの重荷とされるのか。

עֲוֹנִי	אֶת־	וְתַעֲבִיר	בְּשַׁעִי	תִּשָּׂא	לֹא־	וּמָה	21
咎を	私の	そして-取り除かないの	私の-背きを	赦さないの	赦さないの	そして-なぜ	
H5771	H0853		H6588	H5375	H3808	H4100	

פ	וְאִינִי:	וְשָׁחַרְתִּנִּי	אֲשַׁכֵּב	לְעֶפְר	עֵתָה	כִּי־
□	私は-いない	そして-捜しても	横たわる	塵の-中に	今	なぜなら
	H0369	H7836	H7901	H6083	H6258	

なにゆえ、わたしのとがをゆるさず、わたしの不義を除かれないのか。わたしはいま土の中に横たわる。あなたがわたしを尋ねられても、わたしはいないでしょう」。